

## 安全データシート (SDS)

### 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称(製品名)	<b>ポリールFC</b>
会社名	クスノキ化学株式会社
住所	大阪府富田林市若松町東1丁目205番地
担当部門	技術開発部
電話番号	0721-26-2271
緊急時の電話番号	0721-26-2271
FAX番号	0721-26-2273
推奨用途及び使用上の制限	脱脂洗浄

### 2. 危険有害性の要約

#### GHS分類

健康に対する有害性	眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	区分1
環境に対する有害性	水生環境有害性(急性)	区分2
注意)危険有害性の分類で「区分外」「分類対象外」「分類できない」は項目を省略する。		

#### GHSラベル要素

##### 絵表示又はシンボル



##### 注意喚起語

##### 危険

##### 危険有害性情報

##### 重篤な眼の損傷

##### 水生生物に毒性

##### 注意書き

##### 【安全対策】

使用前に取扱説明書を入手すること。

全ての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。

保護手袋を着用すること。

屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。

ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。

環境への放出を避けること。

取扱い後は手や顔等をよく洗うこと。

##### 【応急措置】

飲み込んだ場合、口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。

皮膚(又は髪)に付着した場合、汚染された衣類を直ちに全て脱ぐこと。

皮膚を流水／シャワーで洗うこと。

吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを装着していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

いずれの場合も直ちに医師に連絡すること。

気分が悪いときは、医師の診断／手当を受けること。

汚染された衣類を脱ぐこと。そして再使用する場合には洗濯すること。

#### 【保管】

容器を密閉して、直射日光を避け、火気、熱源から遠ざけて、涼しい所／換気の良い所に保管すること。

#### 【廃棄】

内容物／容器を廃棄する場合は、該当法規に従い、都道府県知事に許可された産業廃棄物処理業者に委託すること。

使用済みの容器は、他の用途に使用しないで適正に廃棄すること。

### 3. 組成及び成分情報

#### 化学物質・混合物の區別

#### 混合物

成分	含有量 (重量%)	CAS, No	化審法 No.
ポリオキシアルキレンアルキルエーテル	25～35	非公開	非公開
ポリオキシエチレンアルキルエーテル	19	68131-40-8	7-97
アルファ-アルキル-オメガ-ヒドロキシポリ (オキシエチレン)	1.2	68131-39-5	7-97
キレート剤	1 以下	非公開	非公開

### 4. 応急措置

#### 吸入した場合

被災者を直ちに新鮮な空気の場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させ、速やかに医師の手当を受ける。

#### 皮膚に付着した場合

汚染された衣類、靴等を速やかに脱ぎ捨てる。付着した部分を直ちに石鹼を使ってよく洗い、多量の水又は微温湯で十分に流す。外観に変化が見られたり、痛みが続く場合には医師の診断を受ける。

#### 眼に入った場合

直ちに清浄な流水で 15 分間以上洗眼（容易に取り外せる場合はコンタクトレンズも外す）し、できるだけ早く医師の診断を受ける。直ちに医師の診断を受ける。水で口をすすぐ。意識がない場合は、口から何も与えてはならない。

#### 飲み込んだ場合

知見なし

#### 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

救助者はゴム手袋等の保護具を着用する。

#### 応急措置をする者の保護

データなし

#### 医師に対する特別な注意事項

### 5. 火災時の措置

#### 消火剤

粉末消火薬剤、泡消火薬剤、二酸化炭素、散水

この製品自体は燃焼しない。

#### 使ってはならない消火剤

特になし

## 特有の危険有害性

情報なし

## 特有の消火方法

火元への燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用して消火する。

消火活動は可能な限り風上から行う。

## 消火を行う者の保護

消火作業の際は、耐熱手袋、ゴーグル型保護眼鏡、空気呼吸器を着用する。

---

## 6. 漏出時の措置

### 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

作業者は、適切な保護具(『8.ばく露防止及び保護措置』の項を参照)を着用し、風上から作業する。

ロープ等を張り関係者以外立入禁止とする。

### 環境に対する注意事項

側溝、下水、河川に流出し、環境への影響を起こさないよう注意する。

### 封じ込め及び浄化の方法及び機材

少量の場合は、吸着材(おがくず、土、砂、ウエス等)で吸着させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾等でよく拭き取る。

危険でなければ漏れを止める。

### 回収・中和

少量の場合は、吸着材で吸着させて密閉できる容器に回収する。

大量の場合には、土砂等で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてから処理する。

### 二次災害の防止策

排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

危険なく出来る場合は、漏出源を遮断し、漏れを止める。

---

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

『8.ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行う。

#### 技術的対策

(局所排気・全体換気等)

#### 安全取扱注意事項

容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、または引きずる等の粗暴な取扱いをしてはならない。

#### 接触回避

『10. 安定性及び反応性』を参照。

#### 衛生対策

保護手袋を着用すること。

取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。

### 保管

#### 安全な保管条件

直射日光を避け、涼しく乾燥し、換気の良い場所で保管すること。

密閉した容器に保管すること。

火気、熱源から遠ざけて保管すること。

子供の手の届かないところに保管すること。

ステンレス、鉄、ポリエチレン、ポリプロピレン

#### 安全な容器包装材料

---

## 8. ばく露防止及び保護措置

### 設備対策

取扱い場所の近くに、眼の洗浄及び身体洗浄のための設備を設置すること。

作業場には全体換気装置、局所排気装置を設置すること。

設定されていない

設定されていない

### 管理濃度

### 許容濃度

## 保護具

呼吸用保護具	必要に応じて呼吸器用保護具を着用する。
手の保護具	適切な保護手袋を着用する。
眼の保護具	適切な眼の保護具を着用する。
皮膚及び身体の保護具	適切な保護衣を着用する。
特別な注意事項	特になし

---

## 9. 物理的及び化学的性質

外観	無色透明液体
pH	7 ± 1
沸点	100°C
引火点	なし
比重(密度)	1.02 (15°C)
溶解度	水に完溶

---

## 10. 安定性及び反応性

反応性	自己反応性なし
化学的安定性	通常の取扱い条件では安定である。
危険有害反応可能性	データなし
避けるべき条件	データなし
混触危険物質	データなし
危険有害な分解生成物	データなし

---

## 11. 有害性情報(製品としての情報)

急性毒性 (経口)	情報なし
急性毒性 (経皮)	情報なし
急性毒性 (吸入)	情報なし
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	情報なし
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	情報なし
呼吸器感作性	情報なし
皮膚感作性	情報なし
生殖細胞変異原性	情報なし
発がん性	情報なし
生殖毒性	情報なし
特定標的臓器毒性, (単回ばく露)	情報なし
特定標的臓器毒性, (反復ばく露)	情報なし
誤えん有害性	情報なし

---

## 12. 環境影響情報(製品としての情報)

水生環境有害性 (急性)	情報なし
水生環境有害性 (長期間)	情報なし

## 13. 廃棄上の注意

## 残余廃棄物

廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。

都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合には、そこに委託して処理する。

廃棄の前に、可能な限り無害化及び中和処理等の処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。

本製品を含む廃液及び洗浄排水を直接河川等に排出したり、そのまま埋め立てたり投棄することは避ける。

## 汚染容器及び包装

空容器は、内容物を完全に除去してから都道府県知事の許可を受けた廃棄物処理業者に委託して処理する。

## 14. 輸送上の注意

## 国内規制

陸上輸送 労働法等に定められている運送方法に従う。

海上輸送 船舶安全法に定められている運送方法に従う。

航空輸送 航空法に定められている運送方法に従う。

輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策 漏出時の措置:『6. 漏出時の措置』を参照。

『7. 取扱い及び保管上の注意』を参照。

輸送前に容器の破損、腐食、漏れがないことを確認する。

転倒、落下、破損がないように積み込み、荷くずれ防止を確実に行う。

該当法規に従い、包装、表示、輸送を行う。

## 応急措置指針番号

該当しない

## 15. 適用法令

## 化学物質排出把握管理促進法

第一種指定化学物質 : 該当

## (PRTR 法)

ポリ(オキシエチレン)=アルキルエーテル(アルキル基の炭素数が 12 から 15 までのもの及びその混合物に限る。)

アルファ-アルキル-オメガ-ヒドロキシポリ(オキシエチレン)(アルキル基の炭素数が 9 から 11 までのもの及びその混合物であって、数平均分子量が 1,000 未満のものに限る。)

第二種指定化学物質 : 非該当

## 労働安全衛生法

危険物 : 非該当

名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物: 該当

名称表示危険／有害物 ポリ(オキシエチレン)=アルキルエーテル(アルキル基の炭素数が 12 から 15 までのもの及びその混合物に限る。)

名称通知危険／有害物 ポリ(オキシエチレン)=アルキルエーテル(アルキル基の炭素数が 12 から 15 までのもの及びその混合物に限る。)

有機溶剤中毒予防規則 : 非該当

特定化学物質等障害予防規則 : 非該当

## 毒物及び劇物取締法

: 非該当

## 消防法

危険物 : 非該当

大気汚染防止法	特定物質 : 非該当
	有害物質 : 非該当
水質汚濁防止法	有害物質 : 非該当

---

## 16. その他の情報

### 記載内容の取扱い

すべての資料や文献を調査したわけではないため情報漏れがあるかもしれません。また、新しい知見の発表や従来の説の訂正により内容に変更が生じます。重要な決定等に利用される場合は、出典等をよく検討されるか、試験によって確かめられることをお勧めします。なお、含有量、物理化学的性質等の数値は保証値ではありません。また、注意事項は、一般的な取扱いを対象としていますので、特殊な取扱いの場合には、この点にご配慮をお願いいたします。

### 引用文献等

- 1) GHS 対応 SDS・ラベル作成ガイドブック 混合物用(塗料用) 第4版、(社)日本塗料工業会 (2020)
- 2) ラベル・SDS の読み方・活かし方 改正労働安全衛生法対応、中央労働災害防止協会 (2019)
- 3) GHS 分類演習〔改訂版〕—GHS ができる人材育成へ—、化学工業日報社 (2019)
- 4) 独立行政法人 製品評価技術基盤機構(NITE)のデータ
- 5) [改訂第4版] 緊急応急措置指針 容器イエローカード(ラベル方式)への適用、(社)日本規格協会 (2014)
- 6) 英和対訳 危険物輸送に関する勧告 第I巻 モデル規則 第15改訂版 化学工業日報社 (2009)
- 7) 英和対訳 危険物輸送に関する勧告 第II巻 モデル規則 第15改訂版 化学工業日報社 (2009)
- 8) 使用原料 SDS